

魚の“旬”をお知らせします！ 魚市場水揚げ通信

女川魚市場 編

1月号



宮城県東部地方振興事務所水産漁港部
「みやぎ水産の日」PR広報紙 vol.30(1) (平成30年1月30日発行)



今年一年の抱負

株式会社女川魚市場 木村部長から

株式会社女川魚市場の木村部長に今年一年の抱負をいただきました。

最近主力のサンマの他、カツオ、スルメイカ、シロサケと不漁が続いている。それでも悪いものがある時はそれを補うものが何かあるのが世の常で、昨年もう一つの柱のギンザケが好調でした。その他、サバやイワシの水揚げに支えられました。魚価高が続いたため水揚げ金額は約80億円と目標をクリアすることができました。

ただし、水産加工のことを考えれば、魚が獲れて海(生産者)と陸(加工業者)の双方にとって好ましい魚価になればと考えています。

今年こそは、イサダ、コウナゴの春漁に始まって、養殖ギンザケ、イワシ、サバ、サンマと多くの魚種で豊漁になることを期待し、この一年頑張っていきます。



今月の水揚げ状況

1月5日早朝、多くの水産関係者が参加して初売式が行われ、平成30年の水揚げがスタートしました。この時期は金華山や江島周辺の大型定置網を主体に、底びき網の他、刺網などの沿岸小漁の漁船が水揚げします。定置網ではイワシやサバ、底びき網や沿岸小漁ではタラやカレイが多く水揚げされ、手際よく選別・計量され次々と販売されています。



底びき網 沿岸小漁

マダラやスケトウダラを始め、ミギガレイ、アカガレイ、ムシガレイといったカレイ類が多く水揚げされていました。その他には色鮮やかなユメカサゴや貝殻から足(軟体部)がはみ出したモスソガイが目を引きました。



マダラ



ミギガレイ



アカガレイ



ユメカサゴ



モスソガイ

定置網

マイワシやサバを主体に、冬が旬のマダラ、スケトウダラ、ヤリイカ、ヒラメなどの多種多様な魚が水揚げされていました。その中に「数の子」でお馴染みのニシンを見つけました。万石浦や松島湾の藻場で産卵するために回遊してきたものです。



マイワシ



マサバ (大サバ)



マダラ



スケトウダラ



ヤリイカ



ヒラメ



ニシン



ヒガンフグ (アカメ)



ワカシ (プリ幼魚)



クロソイ



ウマヅラハギ (ギハギ)

編集後記

この時期、季節柄荒天で出漁できない日もありますが、各船が事故なく、たくさんの魚を獲って魚市場に水揚げされ、水産関係者の皆様の笑顔が溢れる一年でありますように祈念いたします。今年も一年よろしくお願いいたします。

【お問合せ先】
宮城県東部地方振興事務所
水産漁港部
TEL:0225-95-7914, 1473